

かのこみ

みんなで創る
情報誌

ぶちええね！^{可能}
まるごとかの〜づくり

- ・鹿野アートフェスティバル
実行委員会文化財の部
- ・蝶の舞う里
- ・as iz 活動紹介
- ・地域後援会レポート

春の鹿野は花盛り!



金峰の里

夢プランやイベントの情報、生活に役立つ情報など、
皆さんに利用してもらえらるホームページを目指して

ぼちぼち更新中!ぜひアクセスして下さい!

KanoComi 公式サイト <https://kanocomi.com>



▲ PC でもスマホでも
ご覧いただけます



..... 南極教室開催

2月18日、鹿野小学校ランチルームにて南極教室が開催されました。

この教室は、ミサワホームの社員の方が南極観測隊の一員として現地に行かれた時の体験を伝えることで、未来を担う子供たちに夢と感動を与えたいという想いで全国各地で開かれています。

コロナ禍の影響で出前授業ではなくリモートでの授業になりましたが、プリザードのすさまじさやオーロラの美しい映像に子ども達はクギツケになっていました。

実際に見たのは南極から直接もって帰られた氷河の一部であるという2万年前の氷、やはり家の冷蔵庫で出来た氷とは全く違いました。子ども達にとっては、南極という未知の大陸の話が身近でわかりやすく聞けたという貴重な体験になったと思います。



私の健康のヒ・ケ・ツ

~鹿野地区3団体32人に聞きました!~



住み慣れた地域でいつまでも元気に過ごすために、鹿野地区の皆さんから、私の「できる」「続けたい」健康づくりについて、貴重なご意見をいただきました。

鹿野地区の皆さんが取り組んでいる健康づくりの中から、「自分でも取り組みたい」「私もこれならできそう!」「家族と一緒に取り組みたい」と思うことを日常生活の中にプラスしてみましょう。きっと健康な生活習慣のヒントが見つかるはずです。



鹿野中生徒ボランティアの皆さんと協働で、テーマ別に意見をまとめました。

長生きのために

- 趣味を続けること
- 何事も気にせず、楽しくやる
- 趣味を活かす
- 毎日3人以上の人と会話する
- 日記と家計簿をつける
(頭を使う)

明るく過ごす

- 他人様の幸福を願う
- 物事に感心を持ち、感動すること
- 友達と話す事を続けていく
- ストレスをためないようにする
- よく寝る

食事

- 楽しく食事
- 無農薬の野菜づくり
- 毎食、魚や野菜を食べる
- 野菜を毎日食べる
- 三食きちんと食べる
- 腹八分の食事をとる

楽しく運動

- 人の為に働くこと
- 散歩・草ぬき・歌・田
- 体操
- ウォーキング:
目標歩数 4,000 歩
- 適度な体の使い方

けんこう
通信



編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大が始まって、1年以上が経ちました。

いまだに収束の兆しは見えず、イベントや会食の自粛等も続き不自由な生活が続いています。

そのような中でも、感染対策を十分にしたらうで何か出来ることは無いかを考え、小規模ながら行事を開催してきました。この先も、三密回避は続いていくでしょうが【やらない】ではなく【どうしたら出来るか】を考えていきたいですね。

春は、出会いと別れの季節です。コロナを正しく恐れて皆さんのアイデアと工夫で、思い出に残る出会いや別れが出来ますように!!

【情報提供先】

明るく元気な鹿野をつくる会事務局
(コアプラザかの): 0834-68-2094
鹿野総合支所地域政策課:
0834-68-2331

周南文化協会出前授業【演奏会&朗読会】

去る1月22日(金)、周南フィルハーモニー管弦楽団6名とフリーアナウンサーの北川かすみさんをお招きして、演奏会と朗読会を鹿野中学校ランチルームにて開催しました。

本物を見て、本物を聴く、大変貴重な体験ができたと思います。なかでも、絵本“てぶくろを買いに”を北川さんの朗読に合わせて弦楽器の演奏が入るという試みは、周南フィルさんにとっても初めての事だったらしく『うまくいかなあ』と不安を口にされていましたが、聴き手側からするとこれほど贅沢な構成はないわけで、物音ひとつ立たず全員が朗読と演奏の世界に引き込まれていました。

生徒や先生がたも参加され、笑いあり感動ありの素晴らしい時間でした。



かのコミ 夢プラン 始動!

可能

ぶちええね! まるごとかの~づくり

as is 明るく元気に活動してます

出来ることは積極的に、出来ない事は方法を変えて物事を前向きにとらえて、いつも元気いっぱい楽しく活動をされている as is のお二人。

そんな二人を応援しようと協力の輪が広がって、彼女たちのまわりはいつも笑顔であふれています。

自分にも何か協力できることはないだろうかと思ったあなた! ぜひ、お電話にてお問い合わせください。



地域講演会『地域資源を活かした特産品開発』に参加して

2月21日(日) 新築の長穂市民センターで開催された講演会とワークショップに参加、講演者は「やまぐちシードル」の原田尚美さん。夢を実現するため山口市の地域づくり協力隊に応募、Uターンで山口市に移住し「やまぐちシードル」という会社を立ち上げた紆余曲折のプロセスをお話いただきました。

阿東地域に着任後、阿東の特産品であるリンゴに眼をつけ、それに付加価値を付けた商品開発を模索し、最終的に「シードル」というお酒に着眼、やまぐち「シードルプロジェクト」をスタート。シードル製造だけでなく、リンゴ園市場に若者を呼び込むサービスの提供が必要と考え、「何も無いことが魅力の環境で、初心者でも大自然を楽しめるサービス」を考えられたそうです。

シードルと言われてもピンと来ないですよね。ワインではなく、最近の若い人がカフェやレストランで楽しむ発酵醸造酒であるとのこと。特産品のリンゴを使った、それも発酵酒という近年の健康志向にも当てはまる着眼点がすごいなと思いました。勿論、販売して儲からないと事業を展開・継続していくことができないので、それからが特に大変であっただろうと推測されます。

起業資金はよろず相談窓口やミラサボ専門家と相談・計画し山口県操業補助金や地域おこし協力隊創業補助金を利用、原材料は地域内循環を目標に据え、イベントの開催・飲食店・青果店・企業等思い当たるところは全てPRして歩いたとのこと。

「大切なのは想いを共感できる仲間づくりです」と強調され、地域農家のファンを増やし、応援者・協力者の確保、仕入れ先や顧客づくりに奔走し地盤を固められました。

今後の展望として、農・食・人を繋げていくことをに重点をおいた活動を、次にリンゴが見える場所での醸造所の設立という夢への挑戦、そしてツーリズムを協議・検討し、地域共生を山口市全体で取り組める方向性も目指していきたいとのことでした。

講演後、参加者全員でグループごとにタイトルにある「地域資源を活かした特産品開発」をテーマにワークショップが行われました。非常に素晴らしい研修会でした。



『鹿野アートフェスティバル実行委員会文化財の部』の活動紹介

皆さん知っていますか? 鹿野の文化財のこと。

当会では鹿野の文化財を後世に少しでも伝承していき、交流人口を増やしていくために文化財を文書・写真化して紹介していき、それを地域資源として取り上げたいと以前より活動を継続しています。

現在進行中の鹿野アート実行委員会による取り組みを紹介します。

- ① 潮音洞と漢陽寺の重森三玲作庭の六庭園
- ② 箏曲創始者・音楽家 筑紫歌都子さん
- ③ 二所山田神社・宮本重胤さんと女子道社
- ④ 龍雲寺と江良弾正の居館跡と枝垂桜
- ⑤ 岩崎想左衛門と岩崎家の製売薬道具・古文書・絵画・額・巻物・画稿等資料多数
- ⑥ 岩崎家による鹿野の町並みの変遷(町割り図)
- ⑦ 鹿野地区における県と市の指定文化財

他にも小谷遺跡・アンチモニー鉱山・小民具の数々・その他郷土史書籍が多数あります。



蝶の舞う里

清流通りの中程に遊歩道を巡らせた池があり、その中に 20ばかりの大きな鉢が配置されています。

この鉢に『アサギマダラ』の舞う姿を夢見て、数年前から同好の仲間と共に『フジバカマ』を植えたところ、その甲斐あって秋には多数の『アサギマダラ』がやってくるようになりました。その美しい舞い姿が行き交う人たちの目を楽しませています。

去る2月8日(月)、春の花『パンジー』を根元に植えました。清流通りを歩くと『パンジー』が春の訪れを知らせてくれる事でしょう。

追伸: もともとは二所山田神社の前宮司の宮本公胤先生が池のそばの庭に、フジバカマを植えられたことが始まりです。感謝!

